

ヘーベル・ベアスバック・アスロック・イーゼット・フレームキット  
**販売施工 名取屋興産株式会社**  
 TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002

耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波測定等コンクリート構造物の総合診断会社

 **三協 株式会社**

〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10  
 TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080  
<http://www.sankyo-net.co.jp>

● 関 理一郎

## 「躰道」

(有)関建築研究所 小平市鈴木町

支部の皆さんの趣味やスポーツ体験を取りあげてみようと思います。第一回目は法制委員の奥山さんです。奥山さんは「躰道」という武道の世界で活躍されています。経歴は長く40年だそうです。8段の位で、範士という指導の立場でもあります。「躰道」といわれて、すぐそれが何たるかを思い描くことができる人は少ないでしょう。いささかの説明が必要かと思われます。創設は昭和40年で比較的新しい武道です。母体となったのは空手です。当初は躰道と空手はよく似ていました。しかし、時間をかけて変化させ空手とは違った独特の武道を確立したのです。躰道の競技は主として3つあります。実戦競技(空手という組手)法形競技(空手という型)、そして躰道独自の展開競技です。特に展開は、6人一チームで行います。一人が主役で、残り5人が脇役となり、襲いかかる脇役たちを主役がかっこよく倒していくという競技です。



展開の構成は各チームで創意工夫して、難易度の高い技を競い合うのです。どうしても、空手との比較になりますが、空手はどちらかという足を地つけて突いたり、蹴ったりとやや直線的な動きの連続に終始します。ところが、躰道は空手に器械体操の要素を盛り込んだように、縦横無尽に身体を躍動させ、飛んだり、跳ねたり、宙返りしたり複雑な技の連続を得意としています。現在では躰道人口も数万人を越え、全国大会を頂点に各地域の大会も盛んにおこなわれているようです。奥山さんは審判員でもあるので全国を飛びまわって活躍されているようです。支部の皆さんも一度躰道の大会に足を運んでいただければ、私も紹介のたいがいがあるというものです。ちなみに、海外では特に北欧が盛んなようです。

### ● 支部スケジュール

8月	第9回耐震委員会(8/7)、支部役員会(8/21)、むさしの住まいのよろず相談会(8/24)、第10回耐震委員会(8/21)
9月	第11回耐震委員会(9/4)、第12回耐震委員会(9/18)、支部役員会(9/18)
10月	ふれあいフェアを見る会(10/7)、第13回耐震委員会(10/2)、第14回耐震委員会(10/16)
11月	第3回防災まちづくり建築事務所研修会(11/1) 第15回耐震委員会(11/6)

### ● 支部関連イベント

8月	日時連全国大会(8/7)
9月	武蔵野市分譲マンション相談会(9/22)、第24回本部会員交流ゴルフ大会(9/25)
10月	建築ふれあいフェア2013(10/6~10/8)、耐震・耐久セミナー(10/20)
11月	

### ● 広報特集予告

秋号	リスクマネジメント：業務の減少が続く中、ユーザーからは厳しい条件を突きつけられることが多い。今後の業務のリスクと分散について調査し、支部の役割を明確にする。
新年号	「コミュニティービジネス」の有望性を模索し、事務所協会北部支部としてどうかかわるか、関わり方の提案を行う。
新春号	新業務への展開：魅力ある支部とするため、支部開発プロジェクト

## 季刊 広報 ほくぶ 真夏号 第6号(8月1日発行)

発行：(社)東京都建築士事務所協会 北部支部  
 住所：〒188-0011 西東京市田無本町4-9-1  
 測量センター内  
 メールアドレス：info@taaf-hokubu.jp.org



東京都東村山市秋津町3-50-3  
 042 (393) 1177

生コン販売・ALC(クリコ)・耐火被覆他

**日興産業株式会社**

TEL 042-342-0044 FAX 345-9576

● 高田 泰治郎

## 竹松氏副会長就任

(有)タカダ都市設計 府中市武蔵台

6月12日の東京都建築士事務所協会定時総会において、当支部の竹松 和利さんが副会長に選任されました。北部支部からは過去2人の理事が選任されたそうですが、副会長は初めてとのこと。竹松さんは個人的には「約束を守る人」という思いがあります。彼のアドバイスなりを参考にされた会員の方々も多いかと思えます。今後も私たち会員の代表としてますますのご活躍を期待いたします。

### ○「第1回支部対抗・ボウリング大会」結果

日時：2月16日(土) 場所：立川スターレーン  
 団体戦は優勝八王子支部・準優勝協力会・3位西多摩支部。北部支部は4位に終わりました。個人戦は優勝北部支部の菊池建設二木さん・準優勝協力会の比留間さん・3位八王子支部の塚本さんでした。北部支部からは多く参加していただき大変盛り上げました。

### ○「第43回東建北部ゴルフ大会」結果

日時：4月2日(火) 場所：石坂ゴルフ倶楽部  
 優勝立川支部の鈴木馨さん(81)、準優勝南部支部の梅沢武男さん(81)、ベストスコアー87山本泰弘さん、プービー賞北部支部の用松 聖士さん(110)



● 神山 孝昭

### 支部研修旅行

慶成建築事務所 立川市富士見町

毎年恒例となっております研修旅行であります。今年は6月16日(日)から17日(月)に掛けて1泊2日の旅程で開催されました。集合場所の小平駅からサロンバスに乗り、群馬方面に向かいました。途中、昼食をとりその後、富岡製糸場を見学しました。当時の建築物としては、めずらしい大スパンをとった工場でした。大量生産を目的とする機械化は見事なものでした。研修後、旅館につき、なにはともあれ大浴場へかけこみました。日頃の疲れ、ストレスを一掃してくれる期待通りの温泉でした。懇親会は6時半ごろより開始し、8時半ごろに滞りなく終了しました。次の日は自由行動という事で、それぞれが自由に楽しみました。17日(月)夕刻には、出発と同じ場所の小平駅に無事、到着いたしました。今回の支部研修旅行を楽しみにして下さい



平成25年度北部支部研修旅行/富岡製糸場/平成25年6月16日

 **児玉コンクリート工業株式会社**  
 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-9-9  
<http://www.kodama-conc.jp>



アルミニウム製建具、鋼製建具  
**YKK AP株式会社**  
 東京ビル建材統括支店立川支店  
 〒190-0012 東京都立川市曙町1-27-10  
 読売立川ビル6F  
 TEL : 042-521-1020

# 抗酸化陶板浴とは？

(株)にいむの杜 調布市飛田給

抗酸化陶板浴は、2008年12月にオープンして今年で7年目を迎えます。当初は、建築会社なのに何故風呂屋をしたのかと言われていましたが、オープンした経緯は、弊社が推進している抗酸化工法の空気を体験してもらう、ショールーム感覚でした。

抗酸化陶板浴とは？岩盤浴はご存じだと思います。床面を温めた上に寝て汗を出す処です。ただ、不衛生で最近では少なくなってきました。抗酸化陶板浴は、床面を温める仕組みは同じですが、抗酸化溶液を床・壁・天井に塗ることにより、カビにく



い空気(カビないと言っても良いぐらい)になります。寝る処の陶板も抗酸化溶液配合の特殊磁器タイルです。カラッとされた空気で気持ち良い環境です。もちろん、汗の臭いは全くありません。

来店者の皆様は気持ち良く寝ています。良質な空気を吸って身体の芯まで暖め、小腸の動きが良くなり、血流が良くなることにより免疫力が高まり、細胞の新陳代謝が起こり、悪い細胞・傷ついた細胞が新しくなるみたいです。汗は芯から温まってからジワッと出ます。体内に貯まった有害化学物質も快適な汗と一緒に出るそうです。(以前、安保徹先生が来られて、これは良い。と仰っていました。) 病気の原因といわれるストレス。ここではストレスを解放することが出来るみたいです。どんな方が来られているかと言うと、癌・糖尿病・高血圧・膠原病・化学物質過敏症・花粉症・アレルギー体質・など。様々な方がご来店して頂いております。もちろん、健康維持で来られる方も多いです。数年前から助産婦さんも来られ、妊婦さんに勧めて頂いており皆安産だそうです。私自身も学生時代にラグビーの試合中、頭を打ち脳内出血の治療で薬づけになり、副作用で皮膚アレルギーになり、30年近く皮膚科通っていました。温泉とか人と一緒に入るのが嫌でした。抗酸化陶板浴のお陰で今ではきれいな体になりました。(見せたいぐらい・・・) ギックリ腰になった時も3日後にゴルフコンペがありました。参加して優勝まで出来ました。最近、免疫療法で抗酸化陶板浴を設置した病院も出来ました。(当店は、医者が居ませんので医療行為ではありません。) ロコミで広がり、年間1万人近くの方がご来店いただいております。陶板浴に通っている方がこの空気の中で生活したいと、新築・リフォームする方が増えてきました。皆さんも免疫力を上げて、いつまでも健康で暮らせるようにご来店お待ちしております。

今回は抗酸化工法について書きたいと思います。

<p>自動ドア・ステンレス建具</p>  <p><b>ナブコシステム株式会社</b></p> <p>西東京支店 〒186-0003 国立市富士見台2-31-1 TEL : 042-575-1725 <a href="http://www.nabcosystem.co.jp">http://www.nabcosystem.co.jp</a></p>	<p>2011年4月1日 株式会社LIXILが新たに動き出します。</p>       <p>トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リクシル)としてお客様の多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。</p> <p>株式会社LIXIL 東京西支店 東京都昭島市田中町610-3 <a href="http://www.lixil.co.jp">http://www.lixil.co.jp</a></p>
--	---

# ●秋田 昌利 「56年以降でも危ない建物」耐震診断結果と築年数を比較

秋田二級建築士事務所 東久留米市滝山

東京多摩地域で行われた木造住宅の耐震診断(約200棟)の結果と、当時使用されていた筋違や金物を思い出しながら図表にしてみました。「思い出しながら」ということでそれぞれのグラフの境目は明確なものではありません。あくまで目安です。下の表から、新耐震基準(昭和56年)以前の住宅は、ほとんどが耐震基準を満足していませんが、新耐震以後の建物には、わずかながら耐震性の向上が見られます。しっかりとした筋違や金物が取付けられるようになったからかもしれません。

その後、はっきりと耐震性の向上がわかるのは平成7年(阪神大震災)以後です。地震後の平成12年の法改正以降に建てられた住宅はすべてが基準を満たしています。

これらのことから、新耐震以後から平成11年にかけて建てられた住宅の内、実はまだ基準に達していない住宅が約50%もあると考えられます。平成7年(阪神大震災)以前に限った場合は60%を超えると思われます。

これからは、これらの住宅にもしっかりと耐震診断を行い、必要ならば耐震補強を行うことがぜひ望まれます。

